

授業アンケート(平成29年度後期)実施結果

1 実施対象講義数と回答者数等

分類	講義数	受講者数	回答者数	回答率
専門課程	89	4,893	3,602	73.6%
教養課程	67	2,617	2,010	76.8%

2 集計結果

各設問について、「強く思う←6・5・4・3・2・1 →全く思わない」から数字を選択。
選択された数字の平均値を評価結果とした

(1) 専門課程

設問内容		評価結果
1	教員は、シラバスの説明を通じ、授業の到達目標や意義・価値・有用性などを明確に伝えた	5.33
2	教員は、シラバスに記載されている「講義計画及び課題」に沿って講義を行った	5.34
3	この授業は、到達目標の達成に資するものだった	5.40
4	この授業は、その内容に対する関心を受講前よりも高めるものだった	5.39
5	教員は、授業のテーマや内容をより広い問題や事柄に結びつけるように指導した	5.45
6	教員は、学生のレベルや理解度をよく把握して授業していた(予習・復習の遂行が前提)	5.29
7	教員は、授業内容に対する興味や勉強意欲がわくような工夫や努力をしていた	5.32
8	この授業に対する教員の熱意が感じられた	5.46
9	この授業は、本学の学位授与方針のいずれかに寄与する授業であった	5.44
10	この授業の受講環境は適切であった(教室等のサイズ、照明、視聴覚機材等)	5.54

(2) 教養課程

設問内容		評価結果
1	教員は、シラバスの説明を通じ、授業の到達目標や意義・価値・有用性などを明確に伝えた	5.41
2	教員は、シラバスに記載されている「講義計画及び課題」に沿って講義を行った	5.46
3	この授業は、到達目標の達成に資するものだった	5.48
4	この授業は、その内容に対する関心を受講前よりも高めるものだった	5.48
5	教員は、授業のテーマや内容をより広い問題や事柄に結びつけるように指導した	5.49
6	教員は、学生のレベルや理解度をよく把握して授業していた(予習・復習の遂行が前提)	5.40
7	教員は、授業内容に対する興味や勉強意欲がわくような工夫や努力をしていた	5.44
8	この授業に対する教員の熱意が感じられた	5.54
9	この授業は、本学の学位授与方針のいずれかに寄与する授業であった	5.48
10	この授業の受講環境は適切であった(教室等のサイズ、照明、視聴覚機材等)	5.55

3 アンケート内容に関する参考事項

(1) 学位授与方針(ディプロマ・ポリシー…本学の教育が目指す卒業時の学生の姿)

宮崎公立大学は、建学の理念とリベラルアーツ教育に基づいて、人材育成目標である「教養あるグローバル人材」を育成します。「教養あるグローバル人材」育成のための教育課程を修め教育目標を達成した者に学士(人文学)の学位を授与します。

「人材育成目標」

国際的な視野、幅広い知識と確かな専門性、言語によるコミュニケーション能力を備えた上で、人間文化の現代的課題を探究でき、グローバル化する世界で多様な人々とともに主体的に活動できる人材を育成します。

「教育目標」

・創造的な問題解決能力

創造的な問題解決能力とは、必要な情報を処理する技能を備え、根拠に基づいて論理的に考え表現することができ、そして問題を発見解決するための新しいアイデアや価値を生み出せる能力です。

・コミュニケーション能力

コミュニケーション能力とは、日本語と英語を用いて、自由で対等なコミュニケーションを取ることで他者と協力できる能力です。

・異文化理解対応力

異文化理解対応力とは、グローバル化する世界の多文化状況を理解し、その中で主体的に判断し行動することができるようになることです。